

【1.体制】

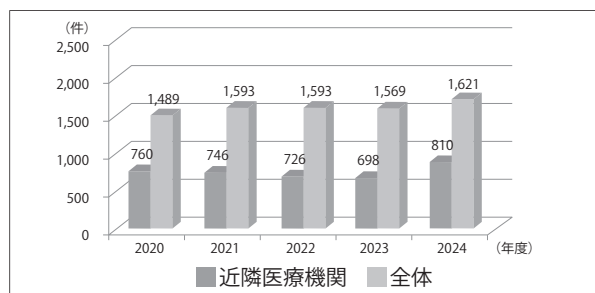
看護師3名、
社会福祉士1名

【2.取組内容と実績】

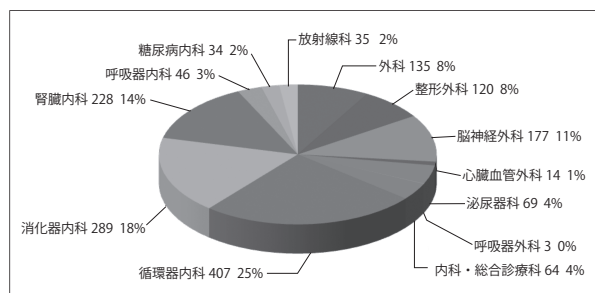
（1）地域連携（紹介・逆紹介）

全体の紹介件数は1,621件、近隣医療機関（三角町、大矢野町、松島町・宇土市の一部）からの紹介は810件で、全体の紹介件数も近隣医療機関からの紹介も前年度より増加に転じた。年度当初、常勤の整形外科医不在の影響で患者数、紹介数ともに減少したが、済生会熊本病院からの応援や、年度途中に非常勤の整形外科医を確保することができ、徐々に整形外科の診療体制を再構築している。また、2024年度は放射線科医、内科・総合診療医、脳神経外科医の加入もあり、9月以降は紹介数が前年度を上回っている。

紹介件数の推移・内訳



紹介科別内訳



（2）連携活動

2024年度も宇城市、上天草市の在宅介護医療連携推進事業、在宅サポートセンター事業のメンバーとして参加した。また、2024年度は久しぶりに宇天医会（連携会議）を開催した。今回は近隣の開業医（内科・歯科）・病院の先生方の他にも介護事業所、訪問看護ステーションなど幅広く声をかけ、医療・福祉の連携も目的に盛り込んだ。参加者からは「医師同士、職種間の交流の重要性を再認識できた」、「久しぶりの対面方式、また様々な職種が参加されていたことで顔が見える連携強化に繋がると思った。」などの感想があり、次年度も今回の反省を踏まえながら検討

していきたい。

（3）退院支援

2024年度は退院支援加算Ⅰを799件、入院時支援加算Ⅰを12件算定した。

当院訪問看護ステーションの開設に伴い、退院調整時、訪問看護の提案がソーシャルワーカーや退院調整看護師からだけでなく、主治医や病棟スタッフからも声があがるようになり、訪問看護の導入が今まで以上にスムーズになった。また、当院のスタッフ同士ということもあり、入退院の際の相談や連携がしやすく、急な調整が必要な際も訪問看護の導入で安心して退院をしていただけた事例もあった。

病棟スタッフが少ない状況ではあるが、患者や家族に関わる際、退院支援の意識をもったスタッフが1人でも増えるよう継続してアプローチしていきたい。今後も多職種で連携をとりながら入退院支援に取り組み、よりよい在宅療養につながるよう支援をしていきたい。

（4）出前・健康講座

2024年度の実施数は12件/年と前年度と同じく微増となった。講座内容としてはリハビリ室への依頼が多く、全体の75%を占めた。

【3.今後の課題】

2024年度と次年度を合わせ4名の常勤医の加入があり、常勤医が13名体制となる。よって、各医師の強みをPRし、地域医療や社会貢献にどう繋げていくかを検討していきたい。